

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

むさしのパークライフマガジン

MPM
2019
AUTUMN
WINTER
VOL.12

YOUR PARK LIFE : Park Life × 木

FOCUS : 樹木医のおしごと

ESSAY : ヴィンテージのピクニックカップ

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きっと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思って日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

ちょっと素敵な自然のこと、

今まで気づかなかつた生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。



都立野川公園「サンシュユ」

Park Life × 木

公園に木があるのはあたりまえ？

ちゃんと観察すると

たくさんの発見があるんです。



都立野川公園「クスノキ」

サービスセンターの前のクスノキ。推定樹齢は120年ほど。公園がICU(国際基督教大学)のゴルフ場だった頃や、その前の中島飛行場の敷地だった時代などを見つめてきたはず。こんもりと枝葉を広げた樹形が美しい

公園に行くとたくさんの木々が迎えてくれます。

春には若葉や花で心を和ませ、夏は緑陰で体を休ませる。秋の紅葉や木の実に子どもたちも喜び、冬の木立のたくましさに感動を覚えます。

でも、木の名前や種類、それぞれの特徴はあまり知られていないかもしれません。同じ種類の木でも、育った場所や日当たりによっても全然違う表情を見せていたり、よく見てみると葉っぱや幹、花や実がとってもおもしろい形をしていています。

この場所が公園になる前の幾つかの時代を経て、大きな木になったものもあります。

むさしのの公園ではひとつひとつの個性を大事にしつつ、全体の景観や生態系も考えながら、できるだけていねいに樹木を見守っています。皆さんもじっくり観察して、それぞれの木のおもしろさを見つけてみてください。



むさしのの都立公園のHPでは、公園で見られる植物や樹木の情報をまとめた「レンジャーミニ図鑑」「樹木観察マップ」をダウンロードすることができます



恐竜の時代である中生代の地層から化石が見つかり、「生きた化石」とも呼ばれる大木のラクウショウは、真っ赤に紅葉した葉や枝を下から見上げると、その姿は空に広がる血脉のように雄大に見えます。赤い実が目をひくゴンズイは、材がもろく用途がないことから、棘があり役に立たないとされる魚の権瑞（ごんずい）と同じ名前がつけられてしまいました。でも実は“日本の良い小舟”という学名を持っていて、赤い船のような袋から覗く黒い種子が愛らしい樹木です。武藏野の雑木林を代表するクヌギやコナラは、黄色く染まった美しい葉と、帽子をかぶった可愛いどんぐりを地面に落とします。このように、秋から冬にかけて、公園の樹木はさまざまな色彩で私たちに季節の訪れを教えてくれるのであります。

木の特徴を使ってあそぼう！

綺麗な色の葉っぱや、まんまるとした実など、身近にある樹木を素材にして親子で一緒にあそんでみませんか？トチノキやホオノキの大きな葉っぱは、目の穴を開けるだけで、楽しいお面に。厳しい冬を乗り越えるためにつくられる冬芽は、鱗片や長い毛で覆われているので、木によっていろいろな手ざわりを楽しめます。ふわふわとしたその触り心地は、爪につけると毛深いネイルに変身！赤や黄色に色づいた葉を布に転写して自分だけのハンカチをつくりたり、ムクロジの実から黒い種を取り出し電球につけると、レトロガラスのように光るイルミネーションがたのしめたりします。このように色や質感に特徴のある素材で小物を作るのも、秋ならではのお楽しみ。

葉の落ちたあの季節は冬芽や葉痕をじっくり観察して歩くのもオススメ。じっとみつめると誰かの顔に見えてくることも…？



1. トチノキのお面

2. コブシの花芽を使ったふわふわネイル

3. 葉っぱに布をあててスプーンなどでこするとそのままプリントできる
(都立浅間山公園・キスゲフェスティバル)

4. ムクロジの外皮を使ったイルミネーションライト

5. ムクロジの実。種子は羽子板の羽にも使われる
6. フジの冬芽はだれかに似ている？



10



2



3



4

- I. 国分寺崖線の斜面など、高所作業車が入れない場所はプロの技術者によるロープクライミング工法で樹木の剪定などをします
2. 樹木診断をして、樹勢を回復するための土壌改良などを行います。写真は都立武蔵野公園の桜の木
3. 樹木ひとつひとつにタグをつけ、GPSと連動したアプリで維持管理するプログラムに取り組んでいます
4. 地域の生態系や公園の景観、樹木の特徴などを理解してトータルに管理するランドスケープマネージャー

最新技術で
愛情たっぷりに
こそだ
木育しています。

森や雑木林のようにたくさんの種類の樹木が生えていたる公園の緑は、美しい景観で私たちを癒してくれます。また、防風林や防火帯としての重要な機能を持っています。一方、大型台風やゲリラ豪雨などによって、樹木が倒木するなどの事故が起きないよう、安全も確保しなければなりません。そこで、木々の特徴などを理解して、造園や景観という2つの視点からトータルに樹木を管理する「ランドスケープマネージャー」が、計画的に樹木管理を行っています。

公園の樹木を管理する上では、老齢化による倒木や落枝、枝が張りすぎて隣家に越境するなど、いくつかの課題があります。武蔵野公園では、1本1本の木の状態を把握するため、園内の約4,000本すべての木に番号のタグ付けを行い、GPS機能を持ったアプリを用いた管理を始めています。そのうえで、適切な時期に剪定や伐採を行い、公園の樹木が健全に成長するよう対処しています。また、舗装などで樹木の根が窮屈になって弱っていることもあります。そこで、木の周りの舗装を広げ、土壤改良材を加えて、根をのびのび伸ばし、水や空気をたくさん取り込めるような環境づくりをすすめています。浅間山公園のように、雑木林に覆われ自然豊かな公園では、地元の保護団体や専門家とともに、生態系の保全を考えたガイドラインを作り、下草刈りや伐採更新などに取り組んでいます。

このように、ランドスケープマネージャーは、樹木の生命力と人々の安全面を両立させていくため、長期的な計画をたて熱意を持って樹木管理を行っています。

11

樹木医のおしごと

岩谷美苗先生 NPO法人 樹木生態研究会理事

樹木医は木のお医者さんです。木は人や動物のように体調が悪い様子がわかりにくいですが、その木の声を聞いて、どうしたら元気になるのか考えるお仕事です。森林インストラクターで樹木医の岩谷美苗先生は、学生時代に武蔵野周辺に住んでいたので、この地域にも詳しく、公園にもよく訪れているそうです。岩谷先生に木のたのしみ方を教えてもらいました。



みんなに愛される木といえば、花がきれいな木、巨木などの名木があげられるでしょう。

それ以外の木は、さほど注目されません。そんな中で「アルパカみたいな木」なんて名前がつくとどうでしょう。もうそれ以外には見えなくなり、気になり始めます。

これは、見えない子（木）がいきなり注目される魔法の言葉です。「木は難しい」と臆することはありません。

植物に詳しくない人のほうが、固定観念が無いでおもしろい名前をつけます。



私は樹木医という仕事をしています。

樹木医は現在全国に2000人ほどが活躍していて、1割程度が女性です。危険な木がないか、元気のない木をどうやって元気にするかなど調べています。

でも、樹木といえば苦情が保護のどちらかで、どうも樹木を語るとき、窮屈な雰囲気があります。私はもっと笑いがあれば、たくさん的人が自由に樹木について語りあえるのではないかと考えています。

みなさんにどんどんおもしろい木を見つけていただき、いろんな魔法の言葉が生まれるといいな、と期待しています。

岩谷美苗



話題の手帳が「ワイド判」で見やすく、読みやすく。
身近な樹木
102種の雑学!



街の木ウォッキング
オモシロ樹木に会いにゆこう

【ワイド判】
散歩が楽しくなる 樹の手帳
(東京書籍)

散歩でよく出会う樹木の特徴やおもしろ雑学を記した手帳。イチヨウは「天然古代な不思議ちゃん」や、サクラは「したたかなアイドル」など、岩谷さんの木への独特的な愛情にあふれた解説は必見。街路樹の見方がまるっと変わります。携帯に便利な手帳サイズと、見やすいワイド判があります。



子どもと木であそぶ
(東京書籍)

身近にある木の枝や葉っぱ、花や実を材料に、その特徴を使った遊びを提案。アオダモの枝をつけた水にプラックライトをあてると青く光る実験や、くるくる回って落ちてくる種をキャッチする遊びなど、親子で木のおもしろさを体験しながら遊べる本。お父さんと一緒にぜひ遊んで欲しい。

えっ、木にこんなあそび方が…!?

NEWS

子どもにも教えてあげようかしら…!

＼参加者募集中！／

むさしのカレッジ「木を楽しむ—樹木医が教える“木あそび”ガイド」

ちょっと誰かに自慢したくなる「木あそび」を多数紹介！普段、何気なく見ている木のフシギやおもしろさについて、学んでみませんか？親子での参加も歓迎です♪
(前半：野外観察 後半：室内レクチャー)

[講師] 樹木医 岩谷美苗氏 (NPO法人 樹木生態研究会理事)

[開催日時] 2019年11月24日(日) 10:00～14:00 ※荒天中止

[対象] 小学3年生以上 [定員] 先着20名 [参加費] 500円(保険料、資料代含む)

[持物] 筆記用具、昼食、飲み物、帽子、歩きやすい服装

[集合場所] 都立野川公園自然観察センター

[申込先] 都立野川公園サービスセンター TEL 0422-31-6457



枝の螢光ベン?

ヴィンテージのピクニックカップ

Episode.11

住宅街を抜け、畑や学校の脇を抜け歩く。

普通、川は小さな支流を集め、しだいに太くなり海へ注ぐ。しかし玉川上水は最初が一番太く、水を分ける度に細くなり、人の営みの中へ届き消える。自然の川と逆さまのフォーケなのだ。そのフォーケは40kmの長さがあり、美しい緑の緑道を従える。

赤いマンナンタケが出た切り株は、二抱うと決めていた。朝食をゆつくりとり、トレッキングシューズと帽子を選ぶ。台所で彼女が何か楽し気に歌っている。拝島線に乗ると、電車は概ね玉川上水に沿って走る。ということは終点までのどこで降りても、上水沿いを歩いて帰れる。「三駅くらい歩こうか?」

電車を待ちながら言つた。
「写真を撮つたり、木の実を拾つたり、ゆっくり歩くでしよう?」

二駅目の玉川上水駅を出れば、まさに目の前が玉川上水。太い水路いっぱいの水が、落ちるような速さで流れしていく。色づいたノブドウや、センニンソウの綿毛を楽しみながら行くと、水は大きな工場のような施設へ呑み込まれる。ここで汚れを除き、多くを東村山浄水場へ分けるのだ。残った水は玉川上水と、さらに細い用水へと分かれる。

「玉川上水は逆さまのフォーケね」

裸のケヤキに夕日が落ちる。玉川上水にこそ武藏野が残つてゐる。水と緑に引き寄せられた、人の暮らしに出会えるところ。

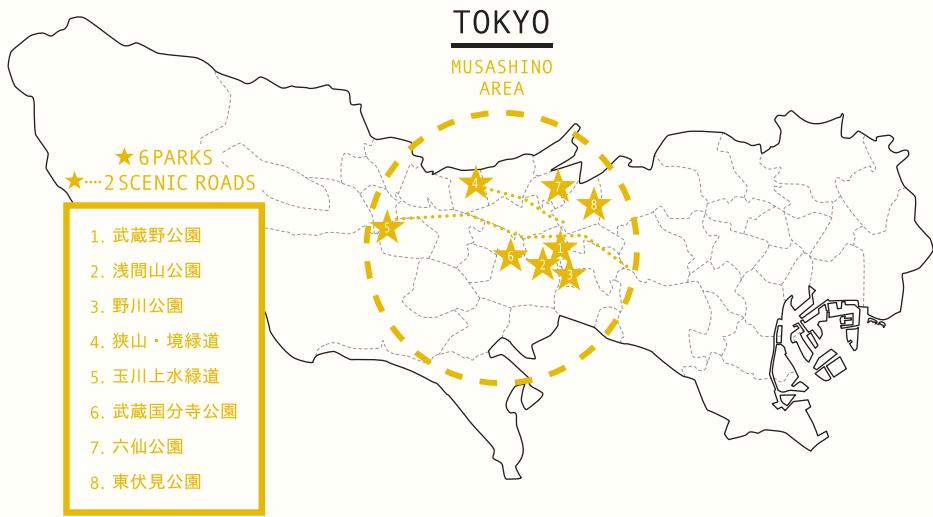
蜂須賀 公之 はちすか まさゆき

するレンジャー、武藏野育ち。東京の自然をこよなく愛

西武・武藏野パートナーズ

武藏野エリアにある都立公園の指定管理者「西武・武藏野パートナーズ」は、2011年より武藏野エリアの公園と緑道を管理してきました。2016年からは西武造園(株)・NPO法人NPO birth・ミズノスポーツサービス(株)に、一般社団法人防災教育普及協会を加えた共同事業体として、新たなスタートを切りました。

「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに、武藏野の自然と文化を大切にしながら、さらに公園の可能性を広げるため、みなさんとともに、元気になる公園づくりをすすめます。



発 行：西武・武藏野パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com>

発 行 日：2019年10月18日

デザイン：川上 明子

写 真：NPO法人NPObirth／岩谷美苗

編集・製作：西武・武藏野パートナーズ／リュエル・スタジオ LLP

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真／都立野川公園（撮影：木村成美）

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINEのバックナンバーは、むさしのの公園のHPで見ることができます。

<http://musashinoparks.com/magazine/>

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

SEIBU·MUSASHINO PARTNERS
<http://musashinoparks.com>